

船舶事故等調査報告書

平成22年7月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第221号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年8月17日 07時21分ごろ	
発生場所	岡山県倉敷市水島港 水島港西1号防波堤灯台から真方位276° 1.5海里付近 (概位 北緯34° 28.3′ 東経133° 42.2′)	
事故等調査の経過	平成21年8月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 油送船 第一金星丸<sup>きんせい</sup>、2,996トン 131727、金洋海運株式会社</p> <p>B 貨物船 第三福吉丸<sup>ふくよし</sup>、497トン 133955、福吉海運株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、三級海技士（航海）</p> <p>B 船長、三級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 左舷船尾外板に破口及び擦過傷</p> <p>B 船首部圧壊</p>	
事故等の経過	A船は、船長Aほか11人が乗り組み、水島港内を南東進中、B船は、船長Bほか4人が乗り組み、水島港内を南進中、平成21年8月17日07時21分ごろ、水島港高梁川口灯浮標付近において、A船の左舷船尾部とB船の船首部とが衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北北東、風速 約1.7m/s</p> <p>海象：波高 平穏、潮汐 ほぼ高潮時</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、水島港において南東進中、船長Aが、B船を初認したとき、B船が左転するものと思ひ込み、B船に対する適切な見張りを行わずに航行し、B船に気付くのが遅れたものと考えられる。</p> <p>B船は、水島港において南進中、船長Bが、A船を初認したとき、現状で航行しても、A船は接近して来ることはないものと思ひ込み、減速せずに航行したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、水島港において、A船が南東進中、B船が南進中、船長AがB船に対する適切な見張りを行わず、また、船長BがA船が接近して来ることはないものと思ひ込んで、減速せずに航行したため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	